

調布をゆったり楽しくハッピーに!

2020年
3月

16号

特集1

スタッフが語る福祉の魅力

福祉のしごとで
わくわく~く!

特集2

オリパラグッズ&
フードを商品開発中

調布市社会福祉協議会「希望の家 深大寺」
高永麻友さん／勤務歴5年

「福祉のしごととは人対人の仕事なので確かな「正解」がない。それが難しいところでもあり、おもしろさでもある」と語るのは高永さん。日常的に介助が必要な知的障がいのある方の日中活動を支援する。「希望の家 深大寺」で働いています。高永さんは大学で「社会福祉コース」で福祉を学び卒業後、調布市社会福祉協議会に就職。相談等支援を行う障害者支援科を経て、昨年4月からこの施設に所属されました。



高永麻友さん。この施設は一緒に働く仲間と調布市の、若狭子や中野の仲間とつながっています。

味や好み、チームなどが変わることであります。昨日は楽しんでいたことを今日は嫌だったということもあって、日々困惑したり、悩むことも多いそうです。そんな時はスタッフ

7同士で情報を共有し、助け合い、話し合い、チームプレイで対応しています。また、利用者のご家族との情報共有も大切で、連携にも努めています。そんな苦勞も、利用者の笑顔や嬉しそうなきざきに触れると消えるといいます。

「福祉のしごとはきつい、たいへんはほかの仕事でも同じですが、それ以上に利用者さんの大切な人生に寄り添い、一緒に考え、喜ぶ時間が持てることは貴重で、元気をもらっていることが多々あります」と高永さんはこのしごとの魅力を語ってくれました。



利用者本人やご家族の要望に合わせての仕事をやりながら、お茶を飲みながら話をする高永さん。

特集① スタッフが語る 福祉の魅力

福祉のしごとで わくわく〜！

福祉のしごとってどんな仕事？ 魅力は？

今回は市内5つの事業所で働く

スタッフ5名の「しごとっぷり」取材してきました！



左から右へ：高永麻友さん、前川あかりさん、高永麻友さん、高永麻友さん

調布を餅すか「カフェ大好き」
後藤朋子さん／勤務歴25年

「カフェ大好き」は京王多摩川駅南にある地元で人気のカフェ。ここは「調布を餅すか」が運営しています。店長を務めるのは福祉の世界に入つて25年の高永さん。高永さんのお母さんです。人と接するのが好き。この業界に入り、約13年間店長を務めています。

この店はカフェとギョーザ、福祉ショップの機能があり、日名の通所メンバーが交代で働いています。メンバーによってできることはさまざま。接客が得意な人、苦手な人がいて、仕事にメンバーを合わせるのではなく、メンバーに「しごと」を合わせている。そう、ひとりです。



25年のママの後藤さん。カフェ大好きでは手前のクッキーの店長。高永さん、高永さんが人気です。

大切にしているしごと 自分の価値観で推しはからなう

「カフェ大好き」は京王多摩川駅南にある地元で人気のカフェ。ここは「調布を餅すか」が運営しています。店長を務めるのは福祉の世界に入つて25年の高永さん。高永さんのお母さんです。人と接するのが好き。この業界に入り、約13年間店長を務めています。

持ち、調理する人もいます。休憩室には「売上目標月50万円」の張り紙も、みんなで目標に向かって働き、達成すると金一封がもらえるそうです。

「店以外にもメンバーと散歩をしていると多くの人から話かけられるそう。日々さまざまな気づきや発見があり、新鮮です。高永さんにはこの仕事は天職だねとよく言われます」と笑います。

趣味は子育て。オフタイムは子どもといっしょに出かけたり、相太鼓を学んだりして楽しんでいます。

こここの会 放課後等デイサービス「ふくふく」
大畑拓人さん／勤務歴8年

大畑さんは布田駅近くにある放課後等デイサービス「ふくふく」で働いています。障がいのある主に中学生から高校生が利用する施設で、平日の午後は調理、制作、室内外でのレクリエーションや遊び、買い物学習などを提供。土曜日は1日活動として、ボウリングやカラオケに行ったり、年に数度、遠足等の外出活動を行うなど、余暇を広げる活動をしています。



利用者から人気の大畑さん。



13歳の利用者さん。福祉の世界で、自分と向き合っている仲間に出会ったことが嬉しそうです。

バイト、実習などを経て、直線が福祉の道。現在の役職は「ふくふく」の管理者兼児童発達支援管理責任者。高永さんと遊ばないで、保護者面談をしたり、個々の発達経過を記録し、子どもたちが発達課題に際した支援を受けられるように、個別支援計画なども作成します。

また、この特集で紹介する高永さん、次頁の常田翔太さんとは大の仲良し。市内の福祉の研修会で知り合った。年齢が近いこともあって、意気投合、仕事終わりによく飲むそう。バカ話していても、福祉の話になり、調布の福祉は、連絡会や研修会、広報誌、わくわく、の発行などで、施設や作業所を越えてスタッフがつながっているの。いところ、連携して調布の福祉を盛り上げたいと語ってくれました。



オリンピック・パラリンピック グッズ&フーズ 商品開発中!

おみやげ

市内の福祉作業所ではオリパラのお土産品を開発中です。
7月上旬から市内各所で販売予定です。ご期待ください。



応援ボード
カナルが応援ボードを制作しました。
みんなで応援しているよ~!



すまいる
オリンピックバン
すまいるは、オリンピックバンの試作
品を作りました。
かわいくておいそうですね!

- その他の開発中の商品
- しごと大好き・カフェ大好き
スイーツ商品を開発中
 - めじる作業所
オリジナルのイラストの
スポーツメモ帳を編織中
 - ファーストステップ
日本開催を記念した絵とそれを
使ったクリアファイル制作を
準備中
 - リフレッシュ工房
日本開催を記念したミニスワ
ラうそくを制作予定

大学で6年7ヶ月の経験がある、いろいろな仕事を経験してきました。今、その経験を活かして活動しています。



相田さんが作るお土産、作り手さんの笑顔が
印象的



調布心身障害児・若者の会「ひびす 深大寺」
相田一樹さん / 勤務歴6年

相手のことを思いやるが 評価されること

相田さんは、大学卒業後、深夜12時まで働く過酷な勤務から転職、被れ切っていた時に、原がいのある方に出会って元気がもたらえたと、励まされ、福祉の世界に入りまし。入ってみるとまったく価値観の違いで、世界利用者の状況や気持ちを考えて全力で支援する。楽しい空間をつくることで、利用者さんが笑顔になつてくれる。ああ、これだ、自分にあつていなと思つたそうです。

びびすは、知的障がいのある方が働く作業所です。具体的には、受注作業として、商品のラベル貼りや封入、ボールペンの発給や箱入り、公園やマンション、高齢者施設の清掃、牛乳パック回収などさまざまなことを請け負っています。そのほかにもお菓子製造、革細工などの制作も行っています。

利用者支援で相田さんが気を付けていることは、相手の立場に立つて物事を考えること。常に丁寧な対応ができていくか、声かけをする時にも上から目線の発言にならないか、本当にその人のことを思って発言しているか、自問自答の毎日だといえます。でも、支援してくれると、利用者がコアと笑ってくれると、この仕事を進んでよかったとつくづく思うそうです。

また、今の仕事はほぼ定時にあがれるので、アフターファイブが充実、同僚や研修などで知り合った友人とも飲みに行ったり、週末はライブにも行くのも魅力ですと語ってくれました。

思わぬきっかけでこの業界に入りましたが、どんなことでとも同じでやってみないとわからない。現場で学ぶことが一番です。まずはボランティアから福祉の世界に触れてみる、と思います」と話してくれました。

特集① あなたも働いて 福祉のしごとでわくわく!



「利用者の生活を支えるのが仕事」と相田さん

調布市社会福祉事業団「調布市デザインセンターまなびや」
常田翔太さん / 勤務歴10年

職員で連携して支援 喜ばれると何よりうれしい

常田さんが働く「まなびや」は重度の身体と知的障がいのある方が通う施設です。常田さんは学生時代に保育を学びましたが、実習で福祉の現場を体験し福祉の世界で働きたいと、今の法人に就職。まなびやでの勤務は7年になりました。

まなびやでは、車イスの利用者がとりくみやすいように工夫してスボーツや音楽、お菓子作りなどの活動と、食事やトイレ、入浴などの生活支援を行っています。ひとりひとりの状況に合わせて個性の高い支援が必要で、専門職の助言を得て毎日リハビリも実施。また、食事事も刻み食やペース食など様々な形態で提供しています。

自分の意思や気持ちを表現する



「利用者は笑顔で居るのを見て嬉しくて、自分も笑顔になれます」

常田さんは、支援に正解はなく、本人を中心に何人も人が一緒に模索していくことでいまいち近づいていくのだと思つています。だから常に色々な人と話し合い、より良い支援ができるよう心がけています」と語ります。

一児のパパで、趣味は子どもと遊ぶこと、野川公園やスーパー銭湯によく出かけるそうです。また、漫画やアニメを見た後、職場や作業所の仲間と飲みに行くことも楽しみ」と話してくれました。

HOST CITY

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 調布で開催!

調布市

市内開催競技

東京スタジアム (旧の森スタジアム) Tokyo Stadium	武蔵野の森公園 Musashino Forest Park
サッカー / 7人制ラグビー Football / Rugby Union	自転車競技 (ロードレース・スタート) Cycling Road
近代五種 (水泳・フェンシング・馬術・ランニング・射撃) Modern Pentathlon (Swimming, Fencing, Shooting)	7月25日 自転車ロードレース・スタート
7月22日 サッカー	7月26日 自転車ロードレース・スタート
7月23日 サッカー	7月26日 自転車ロードレース・スタート
7月27日 ~ 7月29日 7人制ラグビー	
7月30日 ~ 8月1日 7人制ラグビー	
8月7日 近代五種	
8月8日 近代五種	
サッカー	
近代五種	
ラグビー	
車いすバスケケットボール	

© Tokyo 2020

**福祉作業所のおいしい焼き菓子が
「セブン-イレブン」レジ横で販売中!**

「調布市福祉作業等連絡会」に加盟する市内の福祉作業所で作られたお菓子が、「セブン-イレブン」飛田船橋川通り店で販売されています。これは調布市と(株)セブン-イレブンジャパンが結んだ「地域活性化包括連携協定」がきっかけで生まれた取り組み。レジ横のいいところにコーナーを設けていただき、市内の作業所の焼き菓子を順番に販売していただいています。ぜひ訪れて福祉作業所のおいしい焼き菓子を召し上がってください。

調布市福祉作業等連絡会 ☎042-481-3201



調布市福祉作業等連絡会加盟団体

- (協)調布市社会福祉協議会
調布市希望の家 本場 ☎042-481-7700
調布市希望の家 分場 ☎03-3305-7737
希望の家家大寺 ☎042-426-8577
障害者地域活動支援センタードルチェ ☎042-490-6675
放課後等デイサービス ひっこり ☎042-490-6675
- (協)大家地区学園/調布市福祉作業所 ☎042-485-5885
- (協)くすのき会
くすのき作業所 ☎042-486-9129
シェア ☎042-481-1157
- (協)新(あした)の会
はあと・ふる・スィア / ああんふあーり ☎042-490-8625
- (協)調布市社会福祉事業団
すまいる 本場 ☎042-481-7723
すまいる 分室 ☎042-426-9481
そよかぜ ☎042-481-7663
ちょうふだそう ☎042-487-4552
調布市デイセンターまなびや ☎042-442-9652
- (調)調布を輝かす会
しごと場大好き ☎042-486-1022
しごと場大好き国庫 ☎042-444-3733
カフェ大好き ☎042-481-3933
- (協)創立者会/こころの会 ☎042-488-4433
- (協)新緑会/新緑会 ☎03-5314-7081
- (N) 美々苑
美々苑 ☎042-480-8294
美々苑やわらびの家 ☎042-481-6262
- (N)調布心身障害児・者親の会
ひびす ☎042-230-6776
下石原ひびす ☎042-480-5775
- (N)なないりの会 クレオパッタ ☎042-490-3933
たいんぼー ☎042-499-6777
- (N)高次脳機能障害者活動センター
調布ルーム ☎042-444-3068
- (N)にこにこの会
にこにこキッズルーム ☎042-499-5680
放課後等デイサービスなごみく ☎042-444-7807
- (N)羽ばたく会
めじろ作業所 ☎042-443-1633
カフェギャラリーさすり ☎042-444-8818

(N)＝NPO法人、(協)＝社会福祉法人、(一社)＝一般社団法人、(有)＝株式会社、(有)＝有限会社

- (N)ひまわりの会
第1期ビの会 ☎042-483-4230
第2期ビの会 ☎042-483-7090
第3期ビの会 ☎042-426-7506
- (N)ふみ月の会
ふみ月チャレンジ発地 ☎042-486-9901
ふみ月チャレンジ発地1 ☎042-446-0633
- (N)ボコボコ・ホッピング
ボコボコ・ホッピング神代池田 ☎042-483-1114
ボコボコ・ホッピング富士見町 ☎042-486-5922
- (N)リフレッシュ工房 リフレッシュ工房 ☎042-486-4531
- (N)わが家の会
わが仕事所 ☎042-486-317
わが第一事業所 ☎042-484-1360
わが第二事業所 ☎042-488-2870
- (N)エクスセルシア
リサイクルショップ 不燃講座 ☎042-489-3754
- (N)クッキングハウス会 ☎042-498-5177
レストランクッキングハウス
ティールーム クッキングハウス
クッキングスター
- (N)ちょうふの風 ☎042-444-5514
- (N)ファーストステップ ☎042-426-2223
- (N)らぶらんど らぶらんど調布 ☎042-452-8955
- (一社)アソシエイト スマイルパークCHOFU ☎03-5315-5981
- (一社)生活支援ネット
アーリーバード ☎042-446-2550
アーリーバード 早稲草事業所 ☎042-499-6030
- (協)ベイフワード
放課後等デイサービスわかば 西調布店 ☎03-5989-9047
わかば 船川店 ☎042-426-7982
- (協)シエンズ/放課後等デイサービスたんぼぼ ☎042-444-0471
- (協)ファミリーホーム/ドリームボックス下石原 ☎042-444-7155
- (株)メイクイイ・ホールディングス
放課後等デイサービスグリーンアップル ☎042-444-4216
- (有)アイ・ファクトリー/ハッピーテラス調布教室 ☎024-426-8903
- (N)ゆづりくらぶ/ゆづりくらぶ ☎042-430-0844
- (一社)ライフタイムコンディション/TAKUMI調布 ☎042-444-1980
- (株)コロボト/コロボト調布Office ☎024-444-4169
- (N)Mito Project/キナリヤ ☎03-6676-9627

**共生社会を目指して
「バラハートちょうふ」スタート!**

バラハートちょうふ
つなげよう、ひろげよう。
共に生きるまち 2020

「東京2020オリンピック&パラリンピック」が開催されることを機に、調布市では令和2年を「共生社会の重要性を発信していく1年」と位置づけ、さまざまな取組がはじまります。そのキャッチフレーズとロゴが発表されました。キャッチフレーズには、「市内内外の多くの方々が、さまざまな障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる共生社会を実現したい」という思いが込められています。



利用に当たっては下記へお問い合わせください。
調布市行政経営部 政策企画課 ☎042-481-7368・7369まで。

連絡会の
新しい仲間
を募集!

令和元年6月に仙川駅近くオープン

**NPO法人MitoProject
キナリヤ**

主に精神障害のある方を対象とした事業所です。仕事はカフェ「natural meal & cafe キナリヤ」での調理・接客・洗い物など。どんな仕事をするかはひとりひとり相談して決めていますので、飲食店での仕事が初めての方でも安心して働いていただけます。店は、「若色や漂白されていない生盛りや布のように、便利にとらわれず無添加で安心安全な食を提供したい!」という思いから生まれました。定食やお弁当は無駄な食材など、こだわりの食材や調味料で丁寧に手作り。心にも体にもやさしいが自慢です。仕事は週1日時間からでもOK。みなさまのご来店やお問い合わせお待ちしております。



調布市仙川町1-25-4 シティハウス仙川1F
☎03-6676-9627(就労継続支援B型)

**若手スタッフ
リレーインタビュー**

第6回

「アーリーバード」施設長/山野井 恵実さん

※このコラムは登壇者が取材内容を事前にチェックし、コラムです。



キティちゃん大好きな山野井さん

キティちゃんを見ると気分が上がります!

山野井恵実さんは調布市の京王多摩川駅近くにある放課後等デイサービス「アーリーバード」の施設長を任されています。

「アーリーバード」は、小学生から高校生までのお子さんが利用する事業所で、ゆるやかなプログラムで児童がのびのびと過ごせるのが特徴です。しかし、私は極力しゃべらないと山野井さんは話します。ルールが少なからず、しかし、しっかり良いこと悪いことを教えないと利用している子どもたちは、あらゆることを吸収し、自分の力にできる時期でもありません。不適切に言葉があれば、適切な良いものに変えるようにしっかりと注意しています。



毎日も入浴支援員さん(個人写)

今回のリレーインタビューはにこにこキッズの西村健介さんです。

福祉の仕事は日々違うことが起きます。そのため、過去の経験を探りながら仕事に取り組みたいです。

「アーリーバード」では昨年の夏から一人暮らしを始めて、居心地がいい部屋作りで試行錯誤でできるだけ物を減らすことを心がけているそうです。また、キティちゃんが好きで、お部屋にもたくさんグッズを置いてあります。キティちゃんを見るとき気分が上がります。ときにはかんだ笑顔を見せてくれました。

お休みの日には、たくさん寝ることも楽しいの動画を見ることでエネルギーをチャージしています。

子どもたちが成長する過程でもとても大事な時期に関わっていることのうれしさを感じながら、その成長を近くで見られることでも、福祉の仕事の魅力について語っていただきました。

詳しくは連絡会のホームページをご覧ください。
<http://chofufukurenaku.sakura.ne.jp/>



表紙について

今回は調布心身障害児・者親の会「ひびす」深大寺で撮影させていただきました。この日はベンのケース詰めと配達用の段ボールにベンセットを並べる仕事。この日はみんなで1000個を箱に詰めていました。





life style

このページでは、美術・書道の生活の
1コマとご紹介します。

ロサンゼルス展覧会に 参加してきました！

三谷均史さん（24歳）が働く編集作業所「フアーストステップ」は、ギャラリー&カフェ「Pedalario（ペダリオ）」を運営し、絵が得意な同僚が作者の支援もしています。三谷さんの絵は、このギャラリーで値段をつけて展示販売され、実際に売れています。

三谷さんは幼少の頃からデイズニーが好きで、登場するお姫さんの絵を描いていました。そこから少しずつ顔絵を描くようになり、影の付け方、毛ザイクなどの技法は、展示会や画集を見て自然に習得。約20色の色鉛筆を使って色を塗り重ねる今のスタイルになりました。白黒写真を見てカラフルな絵を描くことができますなど、色彩感覚にも優れています。

今まで2018年と19年の「東京国際芸術者総合美術展」や、同年「第2回日本財団DIVERCTY IN THE ARTS」に「入選」「パーシテイ・イン・ザ・アート」に入選。さらに19年に行われた「第3回 HEAT OF STORY BIENNALE（ヒート・オブ・ストーリー・ビエンナーレ）」日本グループ展覧会「ロサンゼルス展」にも入選し、20年2月には、ロサンゼルス展覧会に参加してきました。

普段、家では家事を手伝うという三谷さん。絵の他にも図書館で料理の本を読んだり、スポーツ観戦を楽しんでいます。